

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 会期の決定について
日程第3 専決処分の承認について（令和2年度半田常滑看護専門学校管理組合補正予算第4号）
日程第4 令和3年度半田常滑看護専門学校管理組合予算

2. 出席議員は次のとおりである（7名）

1番	加	藤	久	豊
2番	伊	藤	史	郎
3番	稲	葉	民	治
4番	西	本	真	樹
5番	沢	田		清
6番	澤	田		勝
7番	芳	金	秀	展

3. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

管 理 者	半田市長	榊	原	純	夫
副 管 理 者	常滑市長	伊	藤	辰	矢
常滑市福祉部長		中	野	旬	三
半田市健康子ども部長		竹	部	益	世
常滑市民病院事務局長		小	羽	正	昭
市立半田病院事務局長		竹	内	甲	司
会 計 管 理 者		三	輪	象	太 郎
半田常滑看護専門学校	校 長	石	田	義	博
半田常滑看護専門学校	副 校 長	竹	内	珠	枝
半田常滑看護専門学校	事 務 長	山	本	勇	夫
半田常滑看護専門学校	副 主 幹	山	田	茂	樹
半田常滑看護専門学校	主 査	有	松	洋	子

○議長（沢田清議員）

おはようございます。本日はお集まりいただきありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから令和3年第1回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は7名です。

定足数に達しておりますので、ただちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりですので、よろしくお願い申し上げます。

去る2月5日に、本組合議会議員でありました 榊原伸行 氏におかれましては、ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。つきましては、故人の霊に対し黙祷をささげたいと思っておりますので、一同ご起立をお願いします。

黙祷を始めます。

【黙祷】

黙祷を終わります。ご着席ください。

議事日程に入ります前に、組合管理者から挨拶の申し出がありますので、これを許します。

○管理者（半田市長 榊原純夫）

本日は、令和3年第1回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会の開会に際し、議員各位におかれましてはご多用の中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、平素は当管理組合の運営に格別のご理解とご指導を賜り、心より感謝を申し上げます。

今年度も残すところ1か月余でございますが、せつかくの機会ですのでこの場をお借りしまして本校の近況について、ご報告させていただきます。

まず、第110回看護師国家試験は先日の日曜日2月14日に実施で、本校から32名が受験しました。合格発表は3月26日でございます。結果については全員合格との吉報を心から待ち望んでいるところであります。

続きまして令和3年度入学試験の状況につきまして、ご報告を申し上げます。

昨年10月31日に推薦入学試験と社会人入学試験を実施し、推薦入学試験から25名、社会人入学試験から4名合わせて29名を入学予定者としております。一般入学試験は、昨年より1名減の135名の応募があり、1月18日に試験を実施し、2月5日に合格発表を行いました。ここでは40名定員の残り11名を決定いたすところですが、合格者の多くは大学や他の看護専門学校などを併願受験しており、合格を辞退される方も予想して30名を合格者、41名を補欠合格者と決定しました。

入学手続きの期限は、明日2月19日としており、昨日時点で入学手続きを終えた方は11名でした。合格者の合計がちょうど40名であります。手続き完了者であっても流動的な状況があるため、欠員が生じた場合は、補欠合格者を順次繰り上げるなどの対応をし、定員40名を確保してまいります。

次に卒業生の就職状況について申し上げます。本年度の卒業生は、32名を予定しております。母体病院である半田市立半田病院には23名、常滑市民病院には4名

の計27名の就職が内定しています。今後とも市立半田病院、常滑市民病院にひとりでも多くの学生が就職するように努めてまいります。

また、3月5日午後2時から卒業式、4月2日午後2時から入学式をそれぞれ予定いたしておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴いまして、今回も来賓のご出席につきましては、誠に申し訳ありませんがご辞退させていただきます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

本日ご審議いただく議題については、令和2年度補正予算に係る専決処分の報告及び令和3年度管理組合予算についてをお願いいたしております。

よろしくご審議の上、適切なるご議決を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

○議長（沢田清議員）

これより 議事に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりですので、よろしくお願いを申し上げます。

『日程第1』会議録署名議員の指名についてを行います。

議長において、稲葉民治議員、芳金秀展議員を指名します。

○議長（沢田清議員）

『日程第2』会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

今期定例会の会期は、本日1日としたいと思います。

これにご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって今期定例会の会期は、本日1日と決定しました。

○議長（沢田清議員）

『日程第3』承認第1号を議題とします。

当局の提案説明を求めます。

○事務長（山本勇夫）

ただいま上程賜りました承認第1号専決処分の承認についてご説明いたします。議案書1ページをお願いします。

本件は、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したことにつきまして、同条第3項の規定によりこれを報告し、ご承認をお願いするものでございます。専決処分の内容について申し上げます。

専決処分書のとおり、令和3年1月15日、管理者決裁により、補正予算を専決い

たしました。経緯としましては、本年1月12日、校舎の水道設備である加圧給水ポンプユニットの老朽化による漏水に起因した制御盤の漏電により、校舎内の水が出なくなる事象が発生いたしました。機器は修繕不能であり、更新が必要となりました。トイレが使用不可となるなど日常の学校生活に支障があるほか、18日には一般入学試験が控えており、早期復旧が必要でしたが、議会招集の時間的余裕がなかったため、本専決処分に至ったものであります。これに併せ他に必要な歳出予算の調整を行いました。

補正予算について申し上げます。議案書3ページをお願いします。

令和2年度半田常滑看護専門学校管理組合補正予算第4号は次に定めるところによります。

第1条歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は「第1表 歳出予算補正」によります。表につきましては次頁、議案書4ページ上段にございます。予算内容について、事項別明細書により申し上げます。

議案書6・7ページをお願いします。

2款1項1目学校運営費12万9千円の減額は、1節報酬及び3節職員手当等の減額と14節工事請負費の増額をあわせた差し引きによるものです。

1節報酬は、令和2年10月2日の令和2年第3回本組合議会定例会にて議決いただいた会計年度任用職員人件費につきまして、募集をしましたが応募者がいなかったため、その分の減額と当節の執行見込額との調整により減額するものです。

3節職員手当等は、令和2年度人事院勧告に伴う期末手当の減額を始めとする記載の各手当につきまして、執行見込額に合わせて減額するものです。

14節工事請負費は、今回の専決処分に至る大きな要因である給水設備の復旧工事を計上したものです。工事は1月15日に着工、同月22日に終了し学校機能は復旧しています。

次に3款1項1目予備費12万9千円の増額は、今回の2款の減額補正の財源を元に今後の様々な対応のため、予備費を増額したいとするものです。こうすることで、議案書戻りまして、4・5ページの下段「総括」に記載のとおり、歳出額の総額に増減はございません。参考資料としまして8ページ以降に給与費明細書を添付しておりますので、ご参照ください。

以上で説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（沢田清議員）

説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ご質疑ありませんか。

【なしとの声あり】

○議長（沢田清議員）

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありませんので

討論を省略し、採決します。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって、承認第1号は原案のとおり承認することに決しました。

○議長（沢田清議員）

『日程第4』議案第1号を議題とします。

当局の提案説明を求めます。

○事務長（山本勇夫）

ただいまご上程いただきました議案第1号令和3年度半田常滑看護専門学校管理組合予算についてご説明を申し上げます。

議案書13ページをお願いします。令和3年度半田常滑看護専門学校管理組合の予算は、次に定めるところによります。第1条第1項として歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億7千265万2千円と定めます。第2項として、歳入歳出予算の款、項の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表、歳入歳出予算」によります。

予算内容につきまして、説明の都合上、歳入歳出予算事項別明細書によりご説明申し上げます。別冊の予算説明書の6ページをお願いします。この予算については、半田市の予算編成方針に基づき作成したもので、予算総額は本年度1億7千265万2千円で前年度との比較で174万6千円の増額となりました。予算説明書9・10ページをお願いします。歳入からご説明申し上げます。1款1項1目分担金は、本年度1億3千871万2千円で前年度比較は196万4千円の増額となりました。

内訳として、1節学校管理費分担金は、半田市、常滑市に在住する学生数の見込みにより算定し説明欄のとおり半田市68.54%、常滑市31.46%でそれぞれ記載の金額となりました。

2款使用料及び手数料の1項1目使用料31万2千円は、説明欄の使用料をいただくものです。2項1目手数料3千68万3千円は説明欄のとおりで、主な内訳として受験料は1名1万円の193名分で193万円、入学金は1名5万円の48名分で240万円、授業料は1名年間18万円、130名分で2千340万円、年間教材費は1名年間2万円、260万円をそれぞれ見込みました。

3款繰越金はこれまでの実績により、前年度から同額の250万円の計上です。

4款財産収入は、説明欄記載の項目を見込んでいます。5款1項1目雑入の21万8千円は説明欄のとおり、コピーカード売払収入等です。

続きまして11・12ページをお願いします。歳出について、主な項目をご説明申し上げます。

2款1項1目学校運営費は、1億7千174万8千円を計上し、前年度と比較して174万

6千円の増額です。増額の主な理由として、教務主任の定年退職に伴う退職手当、3年生の予定人数が52名と通常より多くなることに伴った実習委託料の増額などによるものです。主なものについて説明をいたします。

学校運営費の説明欄2節給料は、専任教員9名と事務職3名の計12名の職員給です。令和2年度末に退職する専任教員1名の欠員を母体病院からの派遣対応を予定し、その人件費は18節負担金等にて対応しており、この節では前年度13名から1名減の計上です。

3節職員手当等は、対前年度比60万9千円の増で教務主任の定年退職による退職手当などの増額要因と令和2年度人事院勧告に伴う期末手当の減、職員1名の派遣対応などの減額要因との差引で増額となりました。13・14ページをお願いします。

7節報償費は対前年度比32万2千円の増で非常勤講師謝金について、実績に応じた計上としておりますが、再試験の増加が課題となっております。

8節旅費は対前年度比12万3千円の減で多人数となる3年生の実習指導に係る普通旅費の増はあるものの、例年、アメリカに行っている研修旅行引率旅費を3年度に限り国内に変更することで減額、差引で減額となります。

10節需用費は対前年度比14万7千円の増で手指消毒液購入費の医薬材料費の増が主な要因です。

12節委託料の主なものは、施設設備の保守点検、学生健康診断、実習委託などですが、対前年度比48万8千円の増額で、3年生の実習委託料の増が主な要因です。続いて13節使用料及び賃借料につきまして、15・16ページをお願いします。

4つ目、パソコン借上料は8月に現行5年間の長期継続契約が満了となるため、新規更新契約の見込を含んだ増額等により対前年度比51万9千円の増額です。

17節備品購入費は対前年度比141万4千円の減で、令和2年度に公用車を購入したものの皆減が要因です。

18節負担金、補助及び交付金は対前年度比495万円の増ですが、例年、専任教員に受講させている愛知県専任教員養成講習会について、実習指導の要員の不足から3年度に限り講習会の受講を見送ることによる減額要因と一番下、派遣職員人件費負担金について、平成29年度より継続している母体病院からの看護職員の派遣受け入れについて、半田病院から1名、常滑市民病院から2名の継続に加え、退職者補充として半田病院から新規で1名を受け入れることに伴う人件費負担金で合計4名分と1名増額となり、差し引き増額です。

3款1項1目予備費は、前年度と同額です。

お手数ですが、1・2ページにお戻りいただき、以上、第1表歳入歳出予算の総額は、それぞれ、1億7千265万2千円で収支の均衡を図っています。

参考資料としまして17ページ以降に給与費明細書を添付しておりますので、ご参照ください。以上で説明を終わります。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（沢田清議員）

説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ご質疑ありませんか。

○西本真樹議員

予算書12ページの2款1項1目学校運営費の2節給料なのですが、来年度は1名減で、専任教員を減らして半田病院から派遣で来て頂けるということなのですが、今後、専任教員というのは1名減のまま続けていくのか、実際、生の現場の意見、話が聞けるから生きた学習は出来ると思いますが、その辺りの教員の考え方と言いますか、配置の仕方はどのように考えているのか。

○事務長（山本勇夫）

教員につきましては、実際、先ほどの会計年度任用職員について募集しても応募が無いということで、なかなか集めることに苦慮している状況もございます。併せて母体病院からのご協力により派遣ということで対応させて頂いております。派遣で急場をしのいでいると申しますか、そういった事もあります。実際、派遣の教員で実習指導するにあたって現場の声が聞けて良いという部分も勿論ございますので、派遣で出来る部分については、派遣でお願いしていくという形で考えたいと思っております。

○西本真樹議員

ありがとうございます。もう1点、予算書14ページの2款1項1目の7節の報償費で理由として、再試験が増えたという事で増になっていましたが、今回リモートの授業とかが多くなって、そういうところで大変増えたような事もお聞きしましたが、再試験はやっぱり無い方が良く思うんですが、対策とかはどのように考えているか教えてください。

○事務長（山本勇夫）

西本議員のおっしゃったとおり、リモートが要因でなかなか学習の定着という部分に関して、実際リモートが出来る環境は整えたけれども、それを受ける学生側の心構えと言いますか、そういった部分に課題があるというような事もございます。という事で実際の感染対策を学校の中で施す事によりまして、極力来させて距離をとるような形で実際に授業を受けさせるような方法で来年度につきましては、授業を進めたいと考えているところでございます。

○議長（沢田清議員）

他にありませんか。

【なしとの声あり】

ご質疑無しと認めます。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありませんので討論を省略し、採決します。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決しました。

これにて今期定例会に付議された事件はすべて終了しました。

よって、令和3年第1回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を閉会します。

9時50分 閉会